

船舶運航科 機関係



船舶運航科 機関係では、船の機械を使いこなし、整備できるエンジニアを育てることを目標としています！

航海中に機械が壊れてしまった場合、または、替えの部品が無くなった場合に、私たちエンジニアは壊れた機械の修理、もしくは、不足している部品を自分たちで製作し、船が安全に航海できるよう、メンテナンスを行います。船のエンジニアと聞くと、船でしか仕事ができないと思われかもしれませんが、実は、車のエンジンにも対応できるようになります。

「船が好き！」「機械の分解や組み立てが好き！」「機械に興味がある！」「細かい作業が得意！」「物作りが好き！」など、機械に携わることが好きな人にはとても向いている系列です。

機械について、中学で学ぶ機会はあまりないと思います。皆とともに 0 からスタートし、未来のエンジニアを目指してみませんか？

2年生、3年生で実際に湘南丸へ乗る前に… 船舶運航科 機関係で学ぶこと

船の仕組みについて

船の各部の名称と構造を教科書で学ぶとともに、実習ではエンジンの整備の方法と工具の適切な使い方を身につけます。校内の実習用エンジンを使い、動作手順や安全な整備の方法について、実物を動かしながら、学ぶことができます！



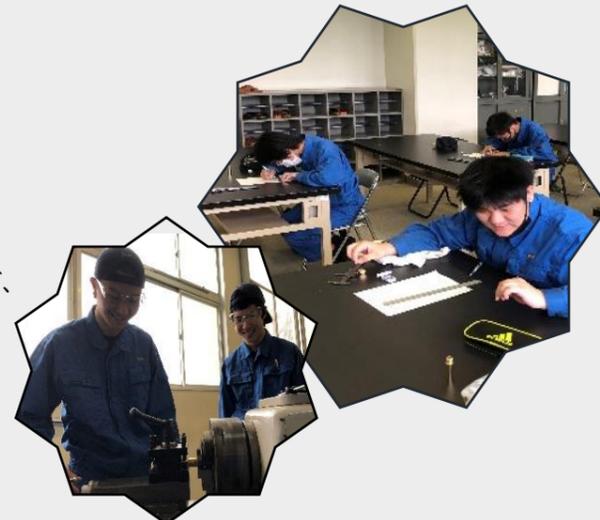
電気の仕組みについて

電気の基礎的な知識と、発電機の仕組みを教科書で学んでいきます。



機械の作り方について

教科書で、機械の基礎知識と物を作るための設計図の書き方、実習で、物を作るために必要な、機械の適切な使い方を学びます。



船舶運航科 機関係での集大成！



船舶運航科では、2年生と3年生のときに「総合実習」という科目で、実際に船に乗り、船での仕事や生活の様子について勉強します。特に機関係では、エンジンのメンテナンスや船内の機械の整備をします。

船舶運航科 機関係で過ごす高校生活の一例



学校での機械実習

学校では実際の機械を使った物作りや、発電機のエンジンを使ってエンジンの構造を勉強します。車のエンジンがどうやって動くか皆さんは知ってますか？

溶接で箱作り！

平らな鉄板同士を、溶接によって繋げていき箱を作ります！最後に隙間が無いか検査する時は緊張します…

旋盤を使って作品作り！

旋盤という機械を使っていろいろな物を作ります。設計図から作るの大変ですが出来たときの達成感は大きいです！

目指すべき資格取得

校内受験	エンジン検定（1級、2級）、小型船舶（1級、2級）、危険物乙種4類
自主受験	フォークリフト、溶接技能者、危険物（各種）、電気工事士

目指すべき進路実現

進学	専攻科（水産工学科）、東海大、水産大学校 国立宮古海上技術短期大学
就職	フェリー会社、海運会社（セメント、タンカー等）、公務員（自衛隊、漁業取締船）

船舶運航科 機関係からの一言

船の世界では、今、若いエンジニアが不足しています。「エンジンに興味がある！船の世界に興味がある！」という方は、是非、船舶運航科機関係へ！